

隼人族の守護神

弥五郎どん祭り



今年も秋の風物詩「岩川八幡神社の弥五郎どん祭り」が11月3日、岩川八幡神社を中心に盛大に開催されました。

弥五郎どんは隼人族の酋長^{しゅうちやう}あるいは武内宿弥^{たけのすけのみち}の化身とも言われています。昭和63年には、鹿児島県無形民俗文化財に指定され、民俗学的な価値も高く評価されており、毎年多くの観衆が訪れます。

当日は、午前1時の「弥五郎どんが起きつど」のふれ太鼓を合図に祭りがスタートしました。1年ぶりに目ざめる弥五郎どんを一目見ようと、深夜にもかかわらず境内は多くの参拝客で賑わいました。

祭りのメインは、午後1時からの「弥五郎どんの浜下り」です。子どもたちに引かれた弥五郎どんが鳥居をくぐり登場すると、大勢の観衆から大歓声があがりました。

巨体を揺らしながら、悠々と市街地を練り歩く弥五郎どん。その姿は岩川の町に秋の訪れを告げていました。



弥五郎どんを一目見ようと、多くの方が見物に訪れました



祭りを盛り上げる弥五郎太鼓



浜下り名物イナバウアー